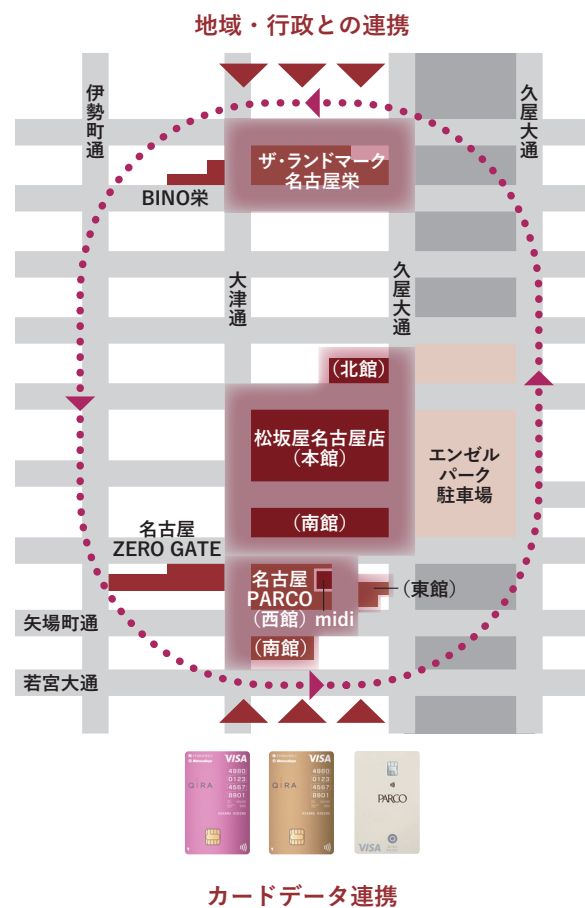


エリアでシナジーを具現化。

名古屋・栄地区にドミナント形成

「グループシナジーの進化」、中期経営計画で掲げた重点戦略のひとつが、いよいよ名古屋・栄エリアで具現化していきます。すでに名古屋・栄エリアには松坂屋が3館、PARCOが4館、さらには名古屋ZERO GATE、BINO栄といった当社グループが運営している館が9つ存在し、店舗というハード面において圧倒的な優位性を備えていることから、高いマーケットシェアを保っています。そこに来年、新たに開業するザ・ランドマーク名古屋栄の商業施設が加わります。それぞれの館が独自の価値を提供することは当然のことながら、さらにグループシナジーを発揮して街の賑わいをもう一段引き上げることで、より強固な事業基盤を構築できると考えています。

来年開業するザ・ランドマーク名古屋栄は、地上41階、地下4階、高さ約211mの大型複合ビルで、B2F～4Fを当社グループが高質な商業施設として運営します。上層階はシネコン、オフィス、ラグジュアリー・ホテルなどで構成され、名実ともに新たなランドマークとなります。このようにお客様それぞれのニーズに合ったかたちで広く利用していただけるように、当社グループは多彩な商業施設を集めています。



ハードとソフトの連携

名古屋・栄エリアで具現化するグループシナジーはこのようなハード面の整備や充実だけでなく、ソフト面での取り組みも重要となります。そのために、2025年3月にホールディングスの組織に名古屋地域共栄担当を新設しました。松坂屋名古屋店長、名古屋PARCO店長が中心となり行政も含めた地域のステークホルダーとの協業体制を強化し、名古屋栄地区のエリアビジョン・戦略を推進することで、エリアにおける価値共創の最大化を目指します。

当社グループには、商業施設だけでなくクレジットカードを発行するJFRカードもあります。エリア内で決済の利便性を提供することをベースに、顧客との強力なコミュニケーション・ツールとしてグループシナジーの観点からも非常に高いポテンシャルを持っています。これまでの大丸松坂屋カードに加え、2025年2月から新PARCOカードの発行を開始したことで、グループ外も巻き込んだソフト面におけるグループシナジーの進化に向けてその重要性はさらに増しています。

この名古屋・栄エリアで発揮するグループシナジーは、言わば今後の当社グループの成長にとっての試金石です。ここでグループシナジーを最大限に発揮することができれば、そのエッセンスを他のエリアにも拡張していくことで、グループのポテンシャルはさらに高まっていくものと考えています。

TOPICS

第3弾「PARK?」My Place／Our Park ～アートと音楽で栄がつながる、広がる社会実験～

久屋大通公園南エリア賑わい創出実行委員会（構成企業：J.フロント都市開発株式会社、三菱地所株式会社、株式会社竹中工務店）と名古屋市との共催により、名古屋市が掲げる久屋大通（南エリア）の再整備の方向性「新たな創造が生まれるウォークアブルタウンのコア～多様な人が集まる刺激と居心地～」の実現に向けて、今後の久屋大通（南エリア）の使い方や過ごし方のアイデアを試行する社会実験を2024年11月2日から11月11日まで行いました。



【POP IS YOU SAKAE】 ～あそぶ、めぐる、サカエカルチャー～

松坂屋名古屋店と名古屋PARCOは、名古屋市美術館、中日ビル、世界コスプレサミット実行委員会、中部電力、でんきの科学館と施設の枠組みを超えて連携し、名古屋・栄エリアの施設をエンタテインメントコンテンツで横断的に街の賑わいを創出するキャンペーンを2025年7月23日から8月17日まで開催しました。



大阪・心斎橋地区

J.フロント都市開発（株）は「（仮称）心斎橋プロジェクト」においてエリア最大級の商業・ホテル・オフィスからなる複合施設を共同事業者と開発します。L Catterton Real Estate社（LVMHグループの不動産開発投資会社）との共同出資により組成した特定目的会社を通じて事業に参画。ラグジュアリーブランドを誘致するなど、新たなランドマークの創造に取り組みます。

また、J.フロント都市開発（株）は大阪市高速電気軌道（株）、（株）関西みらい銀行、（株）アサヒプロパティズと共同で特定目的会社「心斎橋みらい特定目的会社」へ出資し、心斎橋ビル（旧関西アーバン銀行本社）を取得することで、御堂筋を中心にまちづくりを進める新たなプロジェクトに参画します。

さらに、（株）大丸松坂屋百貨店は、当社の持分法適用関連会社である（株）心斎橋共同センタービルディングの発行済普通株式の42.6%（42,600株）を取得し、当社の連結子会社としました。

大丸心斎橋店、心斎橋PARCOを中心とした心斎橋エリアの開発を進めることで、リテールの拡張や街の賑わい創出・魅力向上に貢献し、当社グループの同エリアでのプレゼンスをさらに強化していきます。



福岡・天神地区

（株）パルコ・J.フロント都市開発（株）を含む権利者6者で構成する「天神二丁目南ブロック駅前東西街区都市計画推進協議会」は、2024年2月に福岡市へ都市計画提案を行い、2025年1月に都市計画決定されました。天神エリアの賑わいを創出する重要な拠点となる魅力的で質の高い街づくりに向け、具体的な検討を進めています。

2024年7月には、ホールディングスに「福岡天神エリア開発推進室」を新設し、プロジェクトの推進体制を強化しました。九州では九州新幹線の開通をはじめ、九州を縦断・横断する道路など交通網の整備が進み、福岡の商圏は九州全域まで拡大しているとも言えます。観光資源も多彩かつ豊富にあり、アジアのエントランスとしてアクセスも良好であることから、今後当エリアはますます活性化していくことが期待されています。

本プロジェクトの開業は2030年度頃を予定しており、グループのノウハウを結集することにより、九州・アジアを代表する複合施設の創造を目指します。



東京地区

東京地区において、当社は年間3,000万人以上を集客する大丸東京店やグローバルでの人気が加速する渋谷PARCO、日本随一のラグジュアリーモールGINZA SIXなど個性豊かな商業施設を展開しています。2025年には渋谷PARCOが2019年の開業以来となる大改装を実施し、さらにコンテンツが進化しました。また、まもなく開業10周年を迎えようとするGINZA SIXでは今後バージョンアップも予定されています。

近年では、例えば百貨店の外商顧客のPARCOやGINZA SIXなどへの送客効果も徐々に生まれてきています。今般のPARCOカード、GINZA SIXカードのJFRカードへのイシュー統合により、今後、カードを介した連携にもシナジーの進化が期待できます。また、松坂屋上野店の周辺にはいくつかの物件を保有しており、エリアの集客力を活かした取り組みには成長余力が相応にあると見ています。

ソフト、ハードの両面からのアプローチにより、グループの総力を集めることで東京地区はまだまだポテンシャルを引き出すことができると考えています。

